

経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

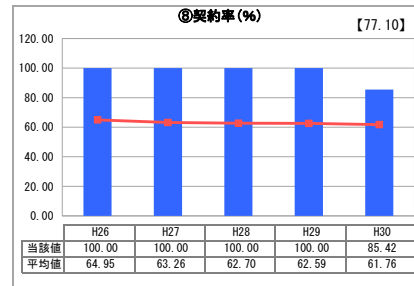
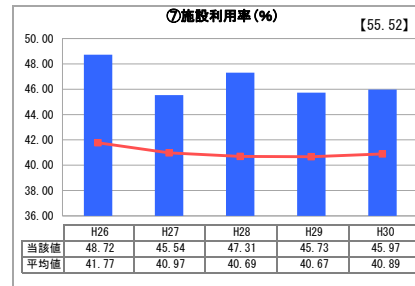
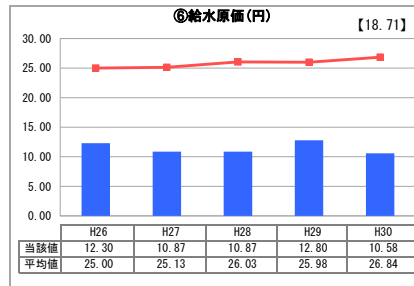
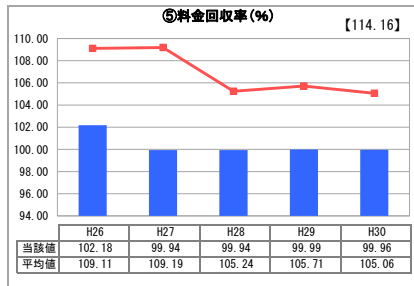
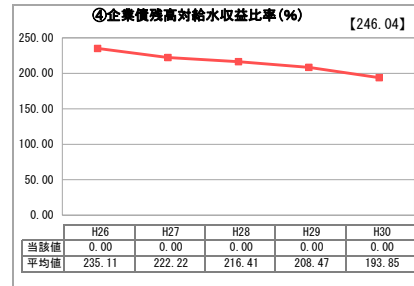
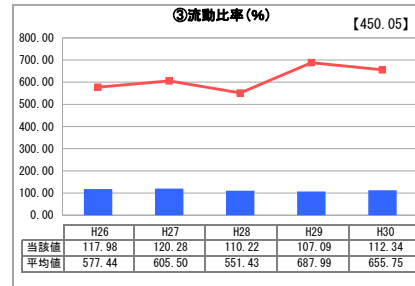
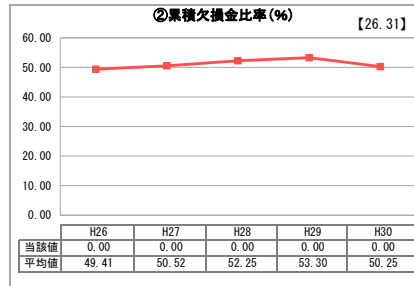
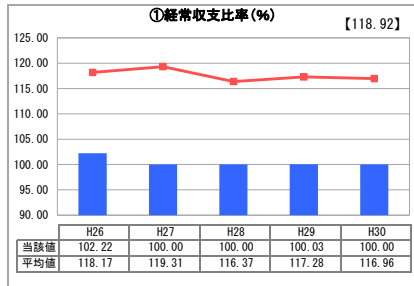
兵庫県 高砂市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	118,000	中規模	1	54,249
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	96.1	2	100,800	自治体職員	

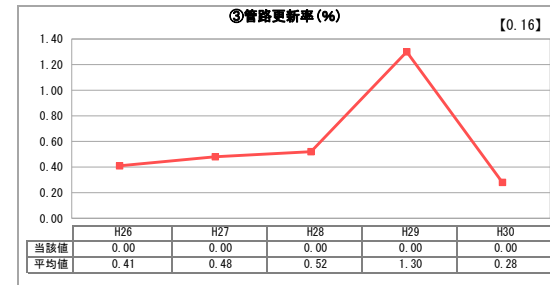
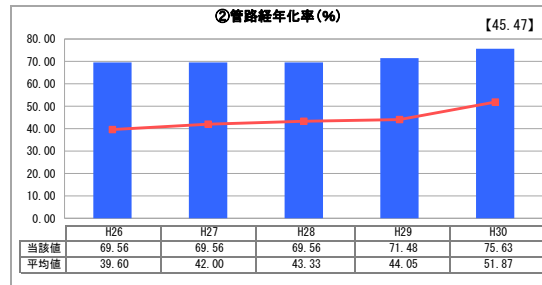
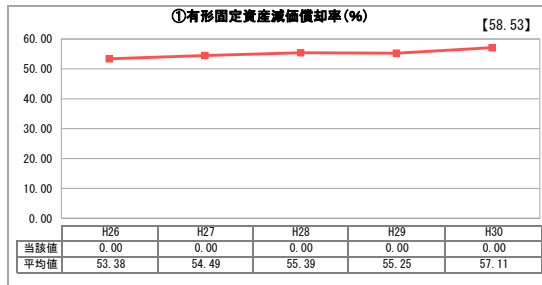
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

受水企業2社が費用全額を負担する負担金制度となっているため、累積欠損金、企業債務高は発生せず。経常収支比率・料金回収率はほぼ100%で推移している。施設利用率については45%前後で推移している。契約率については、平成30年度は契約水量の減少により昨年比14.6%減少し、85.4%となっている。給水原価は10.58円/m³で、全国平均より安価となっている。

2. 老朽化の状況について

固定資産は公営企業会計基準見直し前の「みなし償却制度」により、有形固定資産減価償却率は発生していないが、管路経年化率は75.63%と全国平均に比して高く、老朽化が進んでいる。

全体総括

安価な給水原価の維持、水道事業への寄附金確保、計画的な修繕・更新などによる安定した事業の継続に向け、受水企業2社と協議しながら、今後も負担金制度を継続して行く。令和2年度に計画期間を10年間とする工業用水道事業経営戦略の策定を予定している。